

第七節 昭和四年

昭和四年度東京美術學校年報

甲 款

概況

昭和四年四月五日本科選科及特別學生入學許可者ノ氏名ヲ本校内ニ揭示發表シ同月十二日官報ニ掲載セリ

同年同月同日新入生徒ノ入學式ヲ行フ

同年五月二十七日ヨリ三十日ニ至ル四日間各本科三年圖畫師範科三年九十六名千葉縣習志野陸軍廠舎ニ行軍シ野營演習ヲ実施セリ

同年十月四日本校設置記念日ナリシモ都合ニヨリ繰下ケ十一月四日記念式ヲ行フ

同年十一月二十五日午前九時ヨリ本校運動場ニ於テ各本科並ニ圖畫師範科生徒ノ查閱実施セラル

昭和五年三月二十三日午前十時ヨリ本校第三十九回卒業式ヲ行ヒ例ニ依リ卒業製作並ニ工藝部成績品ヲ別室ニ陳列シ來賓ノ觀覽ニ供シ翌廿四日廣ク本校関係者及有志等ニ觀覽セシメタリ

規程

本年度内ニアリテハ創定又ハ改正セラレタルモノナシ

設備

一、日本畫科標本臨時設備費

二、西洋畫科標本臨時設備費

三、彫刻科標本臨時設備費

〔以下大正九年度以降年報と同文につき省略〕

職員

本年度ニ於ケル職員ノ數ハ學校長一人教授三十人生徒主事一人助教二十人書記七人生徒主事補一人嘱託講師十六人同教員九人同

醫師一人副科嘱託三人教務嘱託二人事務嘱託二人教務雇七人事務

雇九人ニシテ之ヲ前年度ニ比スレバ教授ニ一人助教ニ一人ヲ増

シタルモ嘱託講師ニ二人同教員ニ一人事務雇ニ一人ヲ減ジ其他増

減ナシ

生徒

全体ニ於ケル生徒ノ學力操行健康ノ狀態ハ前年度ニ比較シテ大差

アルヲ認メズ

新入學生徒ニ在リテモ大要亦同様ニシテ特ニ標學スベキ事情ナシ

トス

本年度新入學者ハ本科百三十九人選科十四人特別學生五人(内支

二人)圖畫師範科二十五人研究生三十二人ニシテ其入學者ノ學力

程度ハ本科生ニアリテハ官公立中學校卒業者七十一人私立中學校

卒業者三十四人師範學校卒業者一人農業學校卒業者一人工業學校

卒業者九人工藝學校卒業者十人職工學校卒業者二人実業學校卒業

者三人商業學校卒業者三人高等學校卒業者一人私立大學豫科一年

修了者一人高等學校高等科一年修了者一人美術專門學校未卒業者

二人ナリ 選科生ニアリテハ私立中學校卒業者一人工業學校卒業

者一人工藝學校卒業者二人中學校未卒業者一人実業學校未卒業者

三人高等小學校卒業者六人ナリ 特別學生ニアリテハ官公立中學

校卒業者一人師範學校卒業者一人美術專門學校未卒業者二人中學校未卒業者一人ナリ 圖書師範科生ニアリテハ官公立中學校卒業者十人私立中學校卒業者二人師範學校卒業者九人工業學校卒業者二人工藝學校卒業者一人專門學校入學者試験檢定合格者一人ナリ 研究生三十二人ハ何レモ本校卒業者ノ入學シタルモノトス

新入學生徒ノ年齡ハ本科生ニアリテハ最高二十四年九月最低十八年二月ニシテ平均二十年五月ナリ 選科生ハ最高二十七年三月最低十九年三月ニシテ平均二十三年六月ナリ 特別學生ハ最高二十八年三月最低十九年二月ニシテ平均二十二年三月月ナリ 圖書師範科生ハ最高二十五年五月最低十八年八月ニシテ平均二十一年ナリ 研究生ハ最高三十年四月最低二十三年十一月ニシテ平均二十七年ナリ(以上外國人ヲ除ク)

生徒ノ入退學ニ就テハ本年度入學者本科百三十九人選科十四人特別學生五人圖書師範科二十五人研究生三十二人ニシテ再入學者ナシ 退學者ハ病氣退學二人家事係累退學二十人(内入學許可ヲ取消シタルモノ一人アリ) 除名處分ノモノ二十八人死亡三人研究生在學資格消滅二十三人轉科四人ニシテ除籍處分ノモノナシ

之ヲ前年度ニ比較スレバ入學者ハ本科生二十三入圖書師範科生二人ヲ増シタルモ選科生ニ六人特別學生ニ一人研究生ニ二十二入ヲ減ジタリ 退學者ニアリテハ病氣退學ニ二人家事係累退學ニ九人死亡ニ二人ヲ減ジタルモ除名處分ニ二人研究生在學資格消滅ニ四人轉科ニ二人ヲ増シ其他増減ナシ 生徒ノ員數ハ本年度末ニ於テ之ヲ前年度末ニ比スレバ建築科ニ一人選科生ニ三人特別學生ニ三人研究生ニ二十五人ヲ減ジタルモ日

本畫科ニ四人西洋畫科ニ四人彫刻科ニ二人圖案科ニ二人金工科ニ三人鑄造科ニ一人圖書師範科ニ三人ヲ増シ漆工科ニハ増減ナシ之ヲ綜合シテ全体ノ差引ノ結果ハ十三人ノ減少ヲ示セリ

右各科學徒中日本畫科西洋畫科彫刻科圖案科金工科鑄造科圖書師範科ノ増加シタルハ募入人員ヲ増シタルニ據ルモ全体ノ差引ニ於テ十三人ノ減少ヲ示セルハ研究生ノ激減ニ基ク

本年度ノ卒業生ハ本科百十人選科十四人特別學生六人圖書師範科二十二入ニシテ計百五十二人ナリ 前年度ニ比シテ二十四人ヲ増加セリ

生徒中學術品行殊ニ優等ナルモノヲ選ヒ本校規則第二十六條ニ依リ特待生トナシ昭和四年四月一日ヨリ一學年間授業料ヲ免除セシモノ二十八人アリ 之ヲ前年度ニ比スレバ一人ヲ減ゼリ 圖書師範科生徒ニハ前年度ニ於ケルト同一方法ニ依リ學術又ハ技藝ノ優秀ナルモノニ等差ヲ付シテ獎勵金ヲ給與セリ 即チ昭和四年四月十八日及七月六日昭和五年ノ二月七日ノ三回ニ同科生徒ノ競技會ヲ催シ其成績ヲ考查シ優秀ナルモノニ獎勵金ヲ與ヘ又年度末ニ於テ別ニ學術操行ノ優秀ナルモノヲ選拔シテ同ジク獎勵金ヲ付與シタリ

昭和五年三月末卒業スベキ各本科並ニ選科生徒六十三人ノ実地修學ノタメ本年度ノ初四月十日ヨリ同月二十六日迄十七日間教授一人助教一人講師一人助手二人書記一人囑託一人之ガ引率又ハ附添ニ任ジ京都府及奈良縣ニ出張シ著名ナル神社佛閣等ヲ歴觀シテ美術上ノ実地研究ヲナシタリ

同ジク昭和五年三月末卒業スベキ圖書師範科生徒二十二入ヲシテ

実地教授法視察研究ノ爲本年度初月二十日ヨリ同月三十日迄十一日間教授一人助教一人之ヲ引率シ京都大阪奈良三重ノ二府二縣ニ出張シテ視察研究ヲ爲サシメタリ

本校ニ於テハ生徒皆通學ナルヲ以テ寄宿舎ニ関シテ申報スベキ事項ナシ

將來施設上重要ト認ムル件

工藝部塑造教室設置ノ件〔大正十五年度以降報告〕
〔と同文につき省略。〕

女子部新設ノ件〔大正十年度以降報告と〕
〔ほぼ同文につき省略。〕

圖畫師範科教室新設ノ件

本校圖畫師範科ノ現在教室ハ近年生徒ノ増加ト共ニ完全ニ収容シ難ク頗ル狹隘ヲ感ジ居リ 爲ニ授業上種々ナル影響ヲ受ケ甚ダ遺憾ナル状態ニアリ 且ツ建物モ二十年前建造ノモノニ係リ漸次朽廢損壞ノ箇所ヲ生ズルコト多キニ付同科教室ハ現在ノ場所以外ニ地ヲ相シテ新築セラレンコトヲ希望スルナリ 而シテ在来ノ教室ハ之ト相隣接セル圖案、金工漆工諸科ガ同ジク生徒ノ増加ニ苦惱シツ、アルニ付是等諸科ニ分属セシメテ其使用ニ充當シ以テ諸科ノ苦惱ヲ緩和救済セント欲ス

上述ノ如ク同様ノ意味ヨリシテ圖畫師範科教室ノ新築ハ尤モ急施ヲ要スルモノトシテ提唱スル所ナリ

大講堂新設ノ件

本校々館内ニハ僅ニ数十人乃至百人以内ヲ収容スルニ足ル小規模ノ講義室五、六ヶ所アリ 此外ニ本館階上ノ中央部ニ唯一ナル大講堂一ヶ所アリ約三、四百人位ヲ収容スルニ足レリ 主トシテ本校ニテ行フ諸儀式ヲ舉行スル場合ニ使用シ平生ハ特ニ聽講生徒多

数ナル學課ヲ講ズル場合ニ此大講堂ヲ使用スルコトナリ居レリ 然ルニ本校生徒數ハ此數年來著シキ膨脹ヲ爲シ來リ儀式ノ場合將タ講演講義ノ際ニモ此大講堂ニ溢ル、狀勢ト爲リ大講堂トシテ完全ナル用ヲ果サザルニ至レリ 因テ校館ニ隣接セル空地ヲ擇ビ別ニ獨立セル大講堂ヲ新築シテ如上ノ缺陷ヲ補ハントシテ企圖セラルナリ 新築ヲ要スル大講堂ノ建物ハ之ヲ二階建トシ階上全部ヲ講堂ニ充テ階下ハ二、三ノ教室ヲ作り生徒ノ増加ニ苦ミ居ル西洋畫科及彫刻科ノ一部ヲ収容スルコト、爲シタキナリ

本校附属奈良研究所設置ノ件〔大正十二年度以降報告と〕
〔ほぼ同文につき省略。〕

雜件

生徒實驗ノ資ニ供スルタメ諸所ヨリ依頼ヲ受ケ製作ニ從事シタルモノノ中重ナルモノヲ擧グレバ左ノ如シ

依頼製作一覧

品目	數	量	受託年度	竣功年度	依託者
銀製羊置物外一点	貳	基	昭和三年度	昭和四年度	貴族院庶務課長
紫檀御棚	貳	基	昭和四年度	同	華族會館
悠紀風俗置物	貳	基	昭和三年度	同	滋賀縣
大連港置物	壹	基	昭和四年度	同	南滿洲鐵道株式會社
賞牌	新理十五	同	同	同	農林省
花盛器	貳	筒	同	同	農林省
行幸記念銅牌	壹	筒	同	同	司法省
花盛器	貳	筒	同	同	農林省